

岩手県支部ニュース



財団法人 日本ユニセフ協会

2010年11月

【発行】

(財)日本ユニセフ協会
岩手県支部

〒020-0180

岩手郡滝沢村土沢220-3 いわて生協本部2F

TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491

e-mail : sn.iunicef_iwate@todock.jp

ホームページ http://www.unicef-iwate.jp/

UNICEF Cards and Gifts Full of Life

ユニセフ・カードと ギフトで広がる元気

send a card
full of Life



“Life”という言葉には、生命、人生、生活、活力などさまざまな意味があります。ユニセフ・カードとギフトを通して、世界の子どもたちをサポートしませんか。

2010秋・冬号は、年賀ハガキ、カレンダー、途上国の人々の生活向上につながるハンドクラフト製品など、贈り物にぴったりのさまざまな製品を取り揃えています。

ユニセフ製品の代金50%がユニセフの活動資金として役立てられています。大切な方へのご挨拶やギフトにご利用ください。ユニセフ製品を通じて、世界の子どもたちに元気な笑顔が広がることを願っております。



2009年 5歳未満児の年間死亡 810万人に!

ユニセフ中期事業計画と国連ミレニアム開発目標

ユニセフは、中期事業計画の中で国連ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals: MDGs)の達成を他の国連機関や国際社会とともに目指しています。ミレニアム開発目標とは、2000年9月の国連ミレニアム・サミットで採択された国連ミレニアム宣言に示された課題と、90年代に採択された国際開発目標を統合しまとめたもので、下記の8つの項目において2015年までに達成すべき具体的な数値目標を掲げています。ミレニアム開発目標の詳しい内容については日本ユニセフ協会ホームページwww.unicef.or.jpをご覧ください。

ユニセフの活動とミレニアム開発目標の関係

ユニセフの活動

- 十分なケアを乳幼児に
▶ 子どもの生存と成長
- すべての子どもに教育を
▶ 基礎教育とジェンダーの平等
- エイズと闘う
▶ HIV/エイズと子ども
- 子どもの保護を最優先に
▶ 暴力・搾取・虐待から守る
- 子どもにふさわしい世界をめざして
▶ 政策提言とパートナーシップ

MDGs

- ① 極度の貧困と飢餓の撲滅
- ② 普遍的初等教育の達成
- ③ ジェンダーの平等の促進と女性の地位向上
- ④ 乳幼児死亡率の削減
- ⑤ 妊産婦の健康の改善
- ⑥ HIV/エイズ、マラリアその他の疾病の蔓延防止
- ⑦ 環境の持続可能性の確保
- ⑧ 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進



© UNICEF/NYHQ2006-0949/Noorani

ユニセフは、9月17日、世界の5歳未満児死亡率の最新の推計値を発表。5歳の誕生日を迎えることなく命を落とす子どもの数が、2009年も引き続き減少していたことを発表しました。この推計によると、5歳未満児の死亡数は1990年時点で作年1240万人、2009年には年間810万人に削減されました。

しかしながら、予防できずともかかわらず命を落とす子どもたちがいるという悲劇は続いています。いまだに、毎日、約2万2,000人の5歳未満の子どもたちが命を落としています。こうした死亡の約7割は、子どもたちが1歳の誕生日を迎える前に起きています。

パキスタン 緊急募金受付中



NYHQ2010-1635/Ramonedra

▲避難民キャンプで、大きな水の入った容器を運ぶ女の子。

7月、パキスタン北西部を襲った大規模なモンスーンによる豪雨の影響で、建国史上最悪と言われる大洪水に見舞われているパキスタン。1,800万人近くが被災し、うち約半数が子どもたちとされています。

ユニセフは現在、安全な飲み水を提供。また、医薬品、栄養補助食品、家庭用衛生キットを配布。さらに、被災地域において、予防接種キャンペーンや、衛生的な環境確保のための活動を展開しています。しかし、洪水被害は広範に及び、最大350万人の子どもたちが赤痢や下痢、コレラなどの感染症の脅威に晒される危険性があります。



パキスタン緊急募金

《郵便局(ゆうちょ銀行)振替口座》

00190-5-31000

《口座名義》 財団法人日本ユニセフ協会

◆通信欄に通信欄に

「パキスタン K1 - 030 岩手県支部」と明記願います。

◆送金手数料は免除されます。

◆当協会への募金は寄付金控除の対象となります。

ユニセフ出前講座

大船渡市立綾里中学校

6月25日、大船渡市立綾里中学校1年生(26人)の総合的な学習「国際理解講座」で「開発途上国の子どもたちとユニセフの活動を学ぶ出前講座」を実施。



▲世界地図に5歳未満児の死亡数を色塗りする

寄せられた感想から

国際理解講座の学習で、とても大切なことを学びました。世界には食料や水がない、とても貧しい暮らしの人々がたくさんいるなんて、私たちの生活とくらべると考えられませんでした。私たちは恵まれているんだなあと思いました。前にテレビで貧しい暮らしの子どもたちについての番組を見ました。それを見て子どもたちの悲しみやつらさ、そんな中で笑っていることにとても感動しました。これからの生活では、そんな貧しい暮らしの人たちのことをよく考え、私たちにできることを少しでも見つけ役に立てばいいなあと思いました。

一関市立一関東中学校

7月2日、一関市立一関東中学校(生徒124人)で、第1回選択公開講座「国際理解講座」、「ユニセフと子どもの権利条約」について学びました。

「子どもの権利条約40条」の中から「大切にしたいカード」を班ごとに選び出し、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の4つの子ども権利のうち、一番多く選ばれたのは「守られる権利」(あらゆる虐待や搾取などから守られること。障害のある子どもや少数民族の子どもなどは特別に守られること)でした。



▲「大切にしたいカード」を班ごと選び、発表

寄せられた感想から

小学生のころは、安全な水が飲め、学校に行けるのはあたりまえなんだと思っていました。でも全然あたりまえなんかじゃない、世界には栄養失調の子どもがいる所があると分かりました。5才にもなれずに多くの子どもが死んでいると知って、今、生きている私たちは何にも変えられないくらい幸せでありたいことなんだって思いました。これからも感謝して生活したいなあと思いました。(二年生)

ユニセフ ブータン スタディツアー に参加して



岩手県支部常務理事(いわて生協常務理事) 梅澤 明美

今年の6月27日から1週間、ユニセフ・ブータンスタディツアーで、ヒマラヤの王国ブータンに「水と衛生」「教育」について視察する機会に恵まれました。

今回参加して実感したのは、日本ではあたりまえのように水道の蛇口を開ければきれいな水が飲め、水洗トイレが使用でき、毎日のように風呂に入れることが、どんなに恵まれ幸せな事だということでした。

仏教国ブータンには、200以上の僧院があり、3000人以上の孤児や片親で貧しく親が育てられない家庭の子ども達があります。今でも多くの僧院のトイレは、寮から離れた所に穴を掘った間に合わせのもので、皮膚病や寄生虫によって、下痢などの病気が発症しています。今回の視察の目的は、ユニセフの支援によってトイレとシャワー室を



▲シャリバンガ僧院学院(孤児や片親で貧しく家庭で育てられない子どもたち)梅澤さん・右側

設置するプロジェクトの、1年目の成果を確認することでした。

私達が訪れたシャリバンガ僧院学院の生徒は、「以前の穴掘りトイレは、臭く蚊に刺されて体が痒く下痢などの病気になって大変だった。今は、シャワーを浴び、食事の前やトイレの後も手を洗うことができるようになった。」と、心からの感謝の気持ちを伝えてくれました。

このような形でユニセフ募金が役立ち、住んでいる人々の健康や命を支えていることに感動を覚え、一人でも多くの方に、ユニセフの活動を知ってもらいたいと心から思いました。



▲僧院学院内のポスター(手洗い・トイレの使い方)



▲早期幼児ケアセンター(親が識字教育を受けている間に、子どもたちは幼児教育を受け小学校に行く準備ができる)

ユニセフ平和チャリティコンサート

2010年8月1日 250名参加
岩手県支部花巻友の会主催

世界の子どもたちのすこやかな成長と平和を願ったコンサートは、市民コーラスグループ（コーラス四つ葉、県立花巻北高校合唱部、ギター弾き語りの佐藤敦士さん、響流はなまき、賢治の里で賢治をうたう会）が、「たんぽぽ」「星めぐりの歌」「イマジン」などを熱唱しました。県立不来方高校音楽部が特別出演、最後に平和への思いをこめて出場者全員で「大地讃頌」を合唱。



▲県立不来方高校音楽部



県立花巻北高校▶合唱部



▲コーラス四つ葉



▲賢治の里で賢治をうたう会

会場で寄せられたユニセフ募金 **2万4,530円**

生協のユニセフ支援30年

…新たな支援活動 アンゴラの子どもたちにやさしい学校づくり

○1979 年国際児童年、「バケツ一杯の水を送ろう」から始まった生協のユニセフ募金活動。井戸を掘りきれいな水があれば病気を防げ、子どもの命も救えます。その後全国的な取り組みとし「わが子への愛を世界の子どもたちへ」と識字教育の支援が始まりました。

○1995 年から、ユニセフ現地スタッフからアジアの実情を学ぶなど新しい支援活動として、「指定募金」がスタート。東北の生協は、インド・ビハール州・ジャルカンド州の女性支援に取り組んできました。現地の状況を視察するスタディツアーの実施、10 年間の支援の後、現在ネパールの指定募金に 2005 年から東北・北海道の生協が取り組んでいます。

○従来の緊急募金や一般募金に加え新しい支援活動がスタートします。コープ商品によるユニセフ指定募金。コープ商品の利用を通じて、ユニセフ支援に参加する組合員を増やし、支援の輪を広げていきます。第 1 号商品として CO・OP コアノンロールなど CO・OP 商品の売上に応じてユニセフへ募金します。指定募金の期間は、2010 年 11 月から三年間、年間募金額は 10 万米ドル（約 1000 万円）をめざしています。

○指定募金先は、アンゴラ共和国の「チャイルドフレンドリースクール（子どもにやさしい学校づくり）」です。アンゴラは 5 歳未満児死亡率世界第 2 位、識字率 男 84%・女 63%（15～24 歳）

ユニセフの活動の普及啓発を目的に、1979年国際児童年から開始された日本ユニセフ協会ユニセフ・キャラバンが10月14～15日岩手県知事・教育長を訪問。キャンペーンでは教職員のユニセフ研修、盛岡市立仁王小学校・県立盛岡第二高校で開発途上国の子どもたちの現状を学び、地球市民としての国際理解と協力活動と呼びかけました。



▲達増拓也岩手県知事とのメッセージ交換（宮舘副知事と学校事業部長永井洋子）



▲教職員のユニセフ研修(子どもの権利条約)



▲盛岡市立仁王小学校(途上国の水がめ体験)



▲県立盛岡第二高校(マラリヤから子どもを守る蚊帳体験)



▲アンゴラでは、初等教育の年齢層人口に見合う十分なスペースがありません。



企業の支援etc

サラヤ:100万人の手洗いプロジェクト
ネピア:千のトイレプロジェクト
など多くの企業の支援があります。

ユニセフ・キャラバンキャンペーン 来県

児童ポルノから子どもたちを守るための法改正を求める署名活動

「見ない、買わない、持たない、作らせない」



2008年3月にスタートした「なくそう!子どもポルノ」キャンペーン。国際水準に基づいた早急な法改正などを求めるキャンペーンに県内からも賛同署名が集まりました。こうした声を受け、国会でも当時の与野党による「児童買春・児童ポルノ禁止法」改正案の審議が進められましたが、昨年の衆議院解散によって、あと一歩のところまで廃案となってしまいました。

平成21年度の児童ポルノ事件の摘発数は935件と過去最悪を更新。発見・保護された子どもたちは411人と過去最高を記録し、小学生以下の子どもの被害者数は前年に比べ166.7%の増加となりました。こうした緊急事態に対し、昨年末、政府は「児童ポルノ排除対策ワーキングチーム」を設置し、準備が進められています。日本ユニセフ協会では、2010年5月27日、87団体・個人の賛同を得て「児童ポルノが無い世界をめざす緊急アピール」を提出するとともに、日本ユニセフ協会として、児童ポルノを「見ない、買わない、持たない、作らせない」を合言葉に、早急な法改正などを求める「国民運動の発足」を発表しました。

現行の「児童買春・児童ポルノ禁止法」では

違法(禁止・処罰の対象)・・・製造、販売、配布、公然陳列以上を目的とした所持
適法(罪は問われない)・・・購入・入手・自分で見るための所持

「児童買春・児童ポルノ禁止法」の改正点は・・・

児童ポルノは、子どもの性的虐待の記録です。こうした被害をなくするためには、児童ポルノの購入、入手、単純所持禁止の法改正が不可欠です。
(G8の中で児童ポルノの単純所持を禁止していないのは、日本とロシアだけです)

児童ポルノがない世界を目指して日本ユニセフ協会は50万署名(県内2万)を目標に2011年1月に国会提出予定です。
家族全員代筆可・11月末締め切り。

2010 ワン・ワールド・フェスタinいわて

主催：岩手県国際交流協会

国際交流関係団体のみなさんと協働で開催する国際交流イベント、ユニセフ岩手県支部も参加します。

日時：2010年11月28日(日)
10:00～16:00

会場：いわて県民情報交流センター(アイーナ)

●プログラム

- ・子どもプログラム(世界のおもちゃ)
- ・フェアトレードカフェ & 世界のスナック
- ・ワークショップ & ミニ講座編

●ユニセフすごろく、親子でたのしくユニセフ体験

●ユニセフカード・ギフトの頒布:クリスマスカードや年賀状など



あとがき

●猛暑の8月、盛岡で30℃を超えた日は24日。今は秋、とてもさわやかな日々紅葉を楽しんでおられる方も多いことでしょう。しかし、気候変動に苦しまふアフリカの子どもたちはどうだったのでしょうか。パキスタン洪水など自然災害に心が痛みます。

●児童ポルノから子どもたちを守るための法改正を求める署名活動に取り組み、役員団体や個人のご協力ありがとうございます。ユニセフは途上国の子どもたちの支援をしています。「児童買春・児童ポルノ法」改正の運動は、日本の子どもたちの権利を守る運動です。引き続きご協力をお願いいたします。(事務局)

ユニセフ ハンド・イン・ハンド ボランティア募集中!



届けたい。
すべての子どもたちに
“いのちを守る方法”を

2010年9月、ユニセフは一年間に亡くなる5歳未満の子ども死亡数が2009年、810万人と発表。1990年には1,250万人の幼い子どもが亡くなっていたことを考えれば大きな前進ですが、しかし、世界には予防接種や経口補水塩でいのちを守る支援を待っている子どもたちは多くいるのです。

やってみよう ユニセフボランティア

毎年多くのボランティアのみなさまのご協力で、実施されているユニセフハンド・イン・ハンド街頭募金。昨年は22ヶ所実施し、中・高・大学生、ユニセフ会員など647人が参加しました。



▲2009年クロステラス前:盛岡市内女子高校生のみなさん

ボランティアの申し込み

(財)日本ユニセフ協会岩手県支部花巻友の会
Tel・Fax 0198-23-5439
(財)日本ユニセフ協会岩手県支部
Tel 019-687-4460・Fax 019-687-4491

2010年度ハンドインハンド日程

花巻	盛岡
12月5日(日) 11:00～13:00	12月12日(日) 12:00～14:00
●イトーヨーカドー	●カワトク
●アルテマルカン	●MOSSビル
	●イオンモール盛岡
	●イオン盛岡南SC

ユニセフ活動 参加申込書

事務局使用欄

受付日

参加希望に☑をつけて下さい ☐ ユニセフギフトカタログ ☐ ハンドインハンド ☐ ユニセフ会員 ☐ ユニセフボランティア	(フリガナ) お名前	団体・学校名	お申し込みは (財)日本ユニセフ協会 岩手県支部 TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491 〒020-0180 岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-3 (いわて生協本部2階)
	住所 〒□□□-□□□□	電話番号 () FAX番号 ()	